

# フューチャー・ バイオテック

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：Fバイオテック

2022年6月28日から2023年6月26日まで

第5期 決算日：2023年6月26日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額 (期末)	18,210円
純資産総額 (期末)	44,323百万円
騰落率 (当期)	+19.1%
分配金合計 (当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	15,285円
期末	18,210円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+19.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式へ投資することにより、信託資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

### 上昇要因

- 米ドルが円に対して上昇したこと
- 世界の医療機器関連株式、及びバイオテクノロジー株式が上昇したこと

1万口当たりの費用明細 (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	205円	1.229%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は16,684円です。
（投信会社）	(55)	(0.329)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(146)	(0.878)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	206	1.236	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

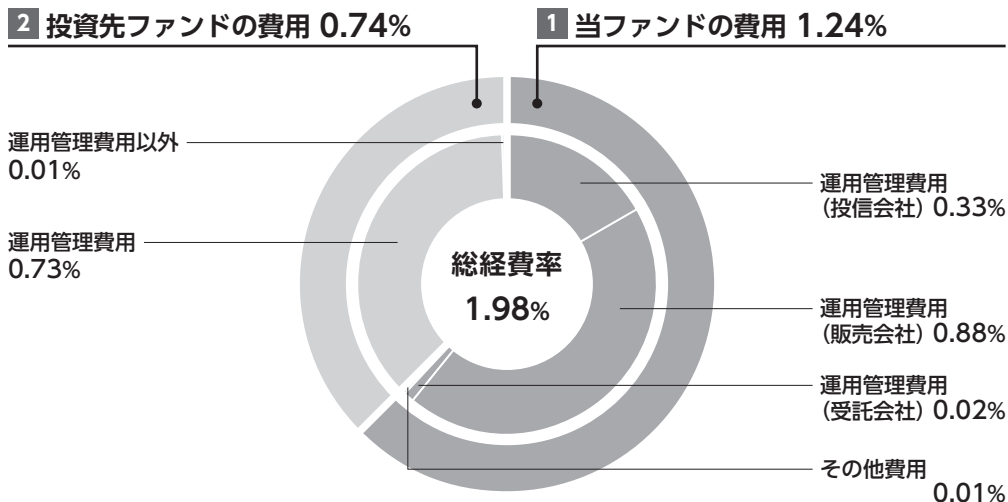
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)		1.98%
1	当ファンドの費用の比率	1.24%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

※ 1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている外国投資信託証券)の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている国内投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

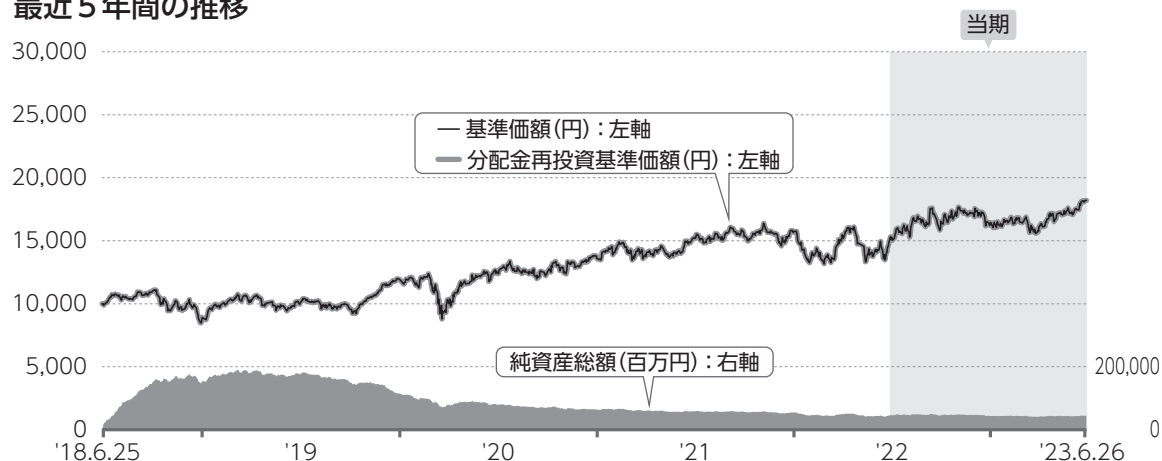
※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.98%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年6月25日から2023年6月26日まで)

最近5年間の推移



	2018.6.25 設定日	2019.6.25 決算日	2020.6.25 決算日	2021.6.25 決算日	2022.6.27 決算日	2023.6.26 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,049	12,416	15,159	15,285	18,210
期間分配金合計(税引前)(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	0.5	23.6	22.1	0.8	19.1
純資産総額 (百万円)	10	176,828	80,023	58,455	46,194	44,323

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

期間におけるバイオテクノロジー株式市場および医療機器関連株式市場は上昇しました。為替市場では米ドルに対して円安となりました。

### バイオテクノロジー株式市場

期を通じて、バイオテクノロジー株式市場は上昇しました。

期初から年末に掛けて、マクロ環境好転への期待感から上昇しました。しかし年明け以降は、世界経済のソフトランディング(軟着陸)への期待から上昇するも、S V B(シリコンバレーバンク)破綻などの影響から一時下落するなど、一進一退の展開となりました。

### 医療機器関連株式市場

期を通じて、医療機器関連株式市場は上昇しました。

期初から年末にかけては、ロシアのウクライナ侵攻や経済のグローバル化からの後退を背景とした供給網の混乱や、米国の長引くインフレによる景気悪化への懸念が強まったことが市場の重石となった一方で、米国の利上げのペースが今後鈍化するとの期待が市場に広がり、一進一退しながらも上昇しました。

その後年明けから3月にかけては、米国で景気の底堅さを示す経済指標が相次いだこと

から悲観論は後退したものの、根強いインフレや金融引き締めへの懸念が嫌気され、下落しました。

期末にかけては、欧米の銀行の経営不安による経済活動への影響が警戒されたものの、堅調な米国の企業業績が市場の支えとなり、上昇しました。

### 為替市場

期末の米ドル/円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。期初から10月に掛けて、日米の金利差の拡大継続が見込まれ米ドル高・円安が進んだものの、その後、F R B(米連邦準備制度理事会)の利上げペースが減速するとの見方が強まったことや日銀のイーールドカーブコントロール(長短金利操作)政策の変更などを背景に、年末にかけて米ドル安・円高基調で推移しました。

年明け以降は、米国の長期金利(10年国債利回り)の上昇を受け、日米金利差の拡大が意識され、米ドル高・円安の流れが進みました。

ポートフォリオについて(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

## 当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を原則として高位に保ちました。「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」への投資割合は、概ね7：3を維持しました。

## カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）

カンドリアム・ベルギー・エス・エーの投資プロセスと意思決定はボトムアップにフォーカスしており、個別企業のニュース、特に臨床試験動向に大きく依存しています。これが銘柄選定とポートフォリオ構築の基礎となっています。期初から変動の大きい相場が続いたことから、大型銘柄のウェイトを高位に維持しつつ、臨床リスクが低く抑えられている中小型銘柄へのウェイトを慎重に増やしました。

個別銘柄では、開発中の乾癬治療薬が有望であったことからプロタゴニスト・セラピューティクスを新規で組み入れました。一方で、開発中の肺動脈高血圧治療薬が競合であるメルクの治療薬より劣るとの判断からゴッサマー・バイオを売却しました。

## フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

ヘルスケア機器・サービスセクターおよび医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスセクターを中心に投資を行いました。

主要購入銘柄は、特殊な手術用および医療製品の開発・製造・販売会社のストライカーや、生物学的製剤の製造プロセスにおける柔軟性を高めるバイオプロセス技術及びシステムの開発・商業化を行うライフサイエンス会社のレプリジェンなどでした。主要売却銘柄は、創薬と薬剤開発のリサーチツールおよびサポートサービスを提供する医療関連会社のチャールズリバー・ラボラトリーズ・インターナショナルや、ライフサイエンス用研究器材、臨床診断・分析用計器の製造および販売に従事する会社のバイオ・ラッド・ラボラトリーズなどでした。



ベンチマークとの差異について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第5期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,210

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を原則として高位に保ちます。「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」、「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」への投資割合は、概ね7：3を維持します。

### カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）

インフレと金利は年後半にピークを付けることが見込まれ、株式市場にとっては良好な環境になることが予想されます。こうした中で、バイオテクノロジーセクターでは年後半に掛けて多くの臨床試験結果が発表される見込みであり、ボトムアップでの銘柄選定に

フォーカスし、魅力的な中小型銘柄を中心に厳選して投資を行う方針です。

### フィデリティ世界医療機器関連株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

医療機器関連セクターは、先進国の高齢化、新興国の所得向上に伴う医療需要の拡大に加え、医療の高度化、効率化、デジタル化など構造的かつ長期的な成長要因に支えられています。景気後退といった外部環境への懸念はくすぶるものの、コロナ禍で延期されていた不要不急の医療行為の回復が顕著となっており、さらには病院の人員不足やサプライチェーン（供給網）の制限といった問題の解消が期待される中、各企業の事業環境は引き続き良好であると見込まれます。徹底した個別企業調査を実施し、成長性や企業価値が市場で正しく評価されておらず、今後の株価成長余力があると判断される銘柄に選別投資する方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

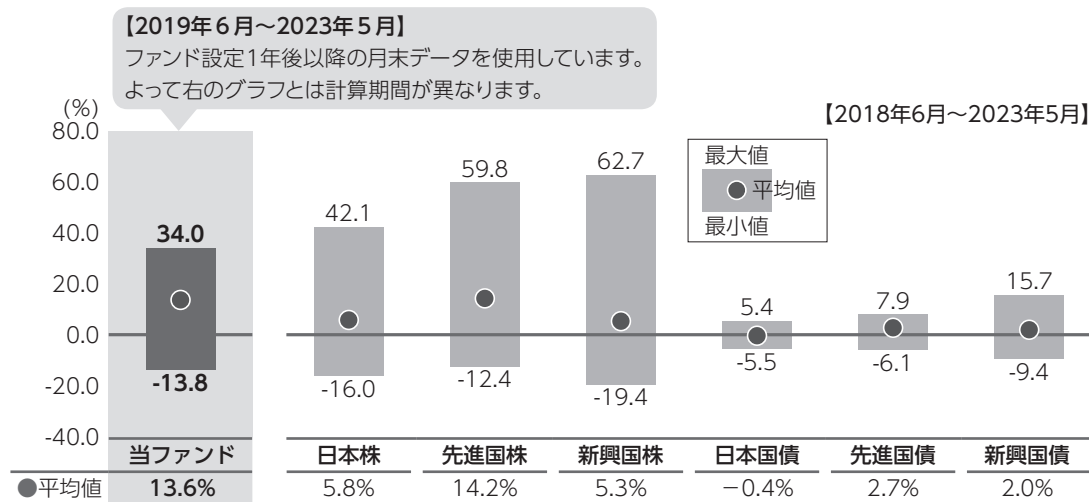
該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2018年6月25日)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p><b>カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）</b> 世界のバイオテクノロジー関連企業の株式</p> <p><b>フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)</b> 世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場している医療関連の機器、設備、技術等を提供する企業の株式</p>
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、世界のバイオテクノロジーおよび医療機器関連企業の株式に投資します。</li> <li>■バイオテクノロジー関連企業の株式への投資は、カンドリアム・エス・シー・エーが運用する「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」を通じて行います。</li> <li>■医療機器関連企業の株式への投資は、FIAM LLCが実質的に運用する「フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」を通じて行います。</li> <li>■バイオテクノロジー関連企業の株式、医療機器関連企業の株式への投資割合は、概ね7：3を基本とします。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年6月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。  
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX(東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI(国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

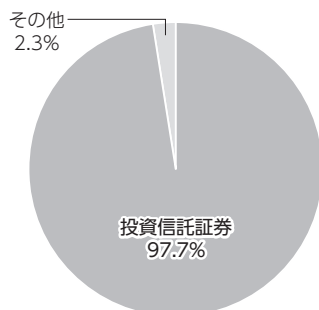
### 当ファンドの組入資産の内容 (2023年6月26日)

#### 組入れファンド等

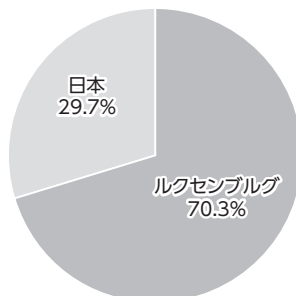
銘柄名	組入比率
カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)	68.7%
フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	29.0%
コールローン等、その他	2.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

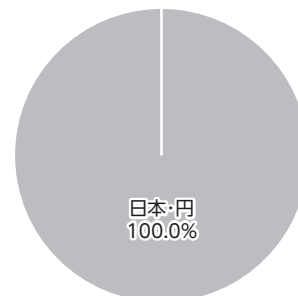
#### 資産別配分(純資産総額比)



#### 国別配分(ポートフォリオ比)



#### 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第5期末 2023年6月26日
純資産総額	(円)	44,323,659,344
受益権総口数	(口)	24,339,947,328
1万口当たり基準価額	(円)	18,210

※当期における、追加設定元本額は1,307,927,927円、解約元本額は7,190,436,768円です。

組入上位ファンドの概要

カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）  
 (2022年1月1日～2022年12月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー」の情報で、カンドリアム・エス・シー・エーから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

組入上位銘柄

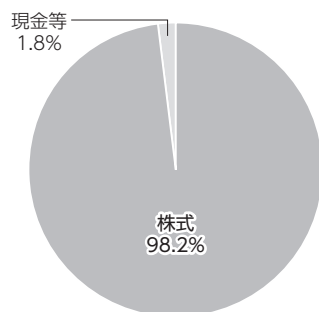
(基準日：2022年12月30日)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.9%
2	ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.6%
3	アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.9%
4	バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.4%
5	パイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.1%
6	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.0%
7	モデルナ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.7%
8	シージェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.7%
9	ホライゾン・セラピューティクス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.3%
10	アストラゼネカ	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	2.1%
	全銘柄数		95銘柄	

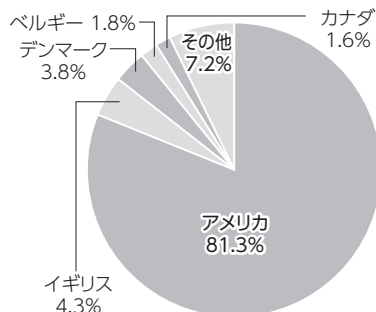
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

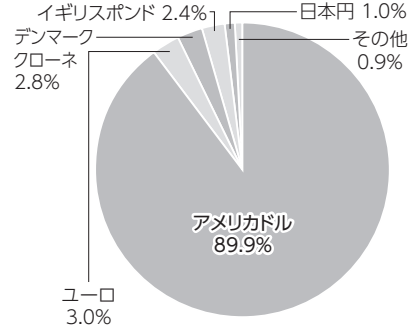
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

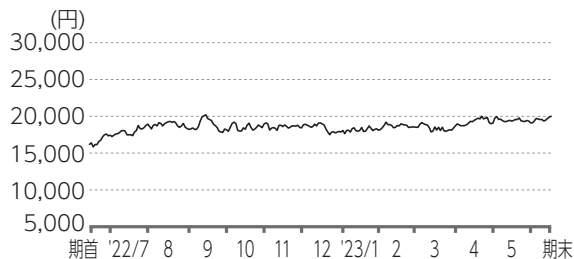
※基準日は2022年12月30日です。

### 1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

フィデリティ世界医療機器関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)(2022年6月16日から2023年6月15日まで)

基準価額の推移



組入ファンド等

(基準日：2023年6月15日)

銘柄名	比率
フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド	100.0%
その他	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

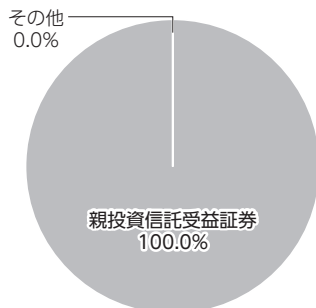
1万口当たりの費用明細

(単位：円)

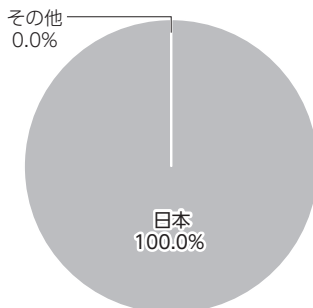
項目	(内訳)	金額	(内訳)
信託報酬	(投信会社)	159	(154)
	(販売会社)		(2)
	(受託会社)		(4)
売買委託手数料	(株式)	6	(6)
有価証券取引税	(株式)	1	(1)
その他費用	(保管費用)	5	(4)
	(監査費用)		(1)
合計		171	

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

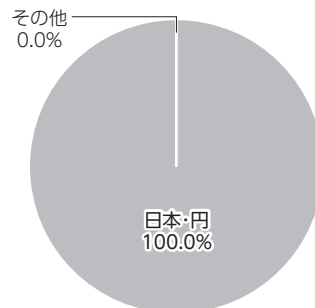
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※基準日は2023年6月15日現在です。

※比率は、純資産総額に対する割合です。



(フィデリティ世界医療機器関連株マザーファンド(2021年12月16日から2022年12月15日まで))

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式)	7	(7)
有価証券取引税	(株式)	0	(0)
その他費用	(保管費用)	5	(5)
合計		12	

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### 組入上位銘柄

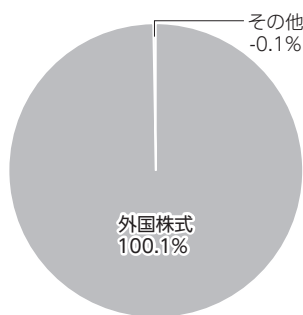
(基準日：2022年12月15日)

銘柄名	通貨	比率
1 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ・ドル	16.1%
2 DANAHER CORP	アメリカ・ドル	15.0%
3 BOSTON SCIENTIFIC CORP	アメリカ・ドル	11.1%
4 INSULET CORP	アメリカ・ドル	5.1%
5 STRYKER CORP	アメリカ・ドル	5.0%
6 PENUMBRA INC	アメリカ・ドル	4.5%
7 ABBOTT LABORATORIES	アメリカ・ドル	4.2%
8 RESMED INC	アメリカ・ドル	3.7%
9 INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ・ドル	3.7%
10 MASIMO CORP	アメリカ・ドル	3.3%
全銘柄数		42銘柄

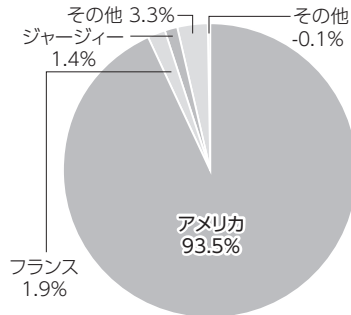
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

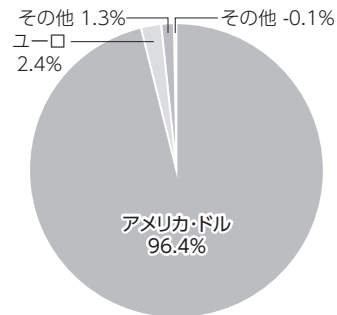
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



※基準日は2022年12月15日現在です。

※比率は、純資産総額に対する割合です。